

2011年1月12日

報道各位

JX 日鉱日石金属株式会社

車載向けリチウムイオン電池用正極材の製造設備の大幅能力増強について

JX 日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目 社長：岡田昌徳，以下「当社」）は、磯原工場（茨城県北茨城市 以下「同工場」）において年 300 トンの車載向けリチウムイオン電池用正極材の製造能力を有していますが、これを年 5,000 トンに大幅増強することとしました。投資額は 92 億円、製造設備の稼働は 2012 年初めを予定しています。

また、今般の増強設備の建設は、経済産業省の平成 22 年度「低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金」の対象に採択されています。

リチウムイオン電池は、電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHEV）・ハイブリッド車（HEV）といった次世代環境対応車に必要な車載用電源として、急速に需要が高まっています。今般の大幅能力増強は、当社がこれまで製造してきた正極材を使用したリチウムイオン電池が次世代環境対応車に本格採用される見通しを得たことによるものです。

次世代環境対応車用のリチウムイオン電池は、高容量・安全性・寿命を高い次元でバランスさせることが求められ、そこに使用される正極材にはそれに応え得る品質・特性が必要となります。当社は独自の一貫プロセスを採用した設備の能力を大幅に増強することにより、上記の要求品質を十分に満たす高純度で均質な正極材を、安定的に供給する体制を構築します。

なお、当社は資源循環型システムの構築を目指し、使用済みリチウムイオン電池から正極材の原料となる金属を効率的に回収する事業化に向け、その実証化試験を鋭意推進しています。この資源循環型システムが実現すれば、本正極材製造のための原料の安定調達にも大いに資するものと期待しています。

以上

(ご参考) 当社が開発した車載向けリチウムイオン電池用正極材

